



平成22年2月5日

各 位

株式会社 ヨロズ

横浜市港北区榑町三丁目7番60号
代表取締役社長 佐 藤 和 己
(コード番号 7294 東証 市場第一部)
問合せ先執行役員財務部長 佐草 彰
(TEL. 045-543-6802)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年11月11日に公表いたしました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の通期業績予想を下表の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期 連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21年11月11日 発表)	百万円 77,000	百万円 2,410	百万円 2,360	百万円 640	円 銭 37.64
今回修正予想(B)	80,100	3,780	3,710	1,470	86.45
増減額(B-A)	3,100	1,370	1,350	830	—
増減率(%)	4.0	56.8	57.2	129.7	—
前期実績(平成21年 3月期)	112,658	6,374	7,468	3,194	187.85

2. 平成22年3月期 個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 21年11月11日 発表)	百万円 35,300	百万円 140	百万円 1,700	百万円 1,280	円 銭 75.27
今回修正予想(B)	35,900	640	2,200	1,610	94.68
増減額(B-A)	600	500	500	330	—
増減率	1.7	357.1	29.4	25.8	—
前期実績(平成21年 3月期)	40,611	874	3,216	598	35.22

3. 修正の理由

一昨年からの世界同時不況を背景に、最悪の状況でスタートした2009年度において、当社グループは、当初は赤字を予想しておりましたが、生き残りを懸けた「緊急収益改善活動」により黒字転換を目指し、以下の諸施策を実施してまいりました。

- (1) 米国における最適生産体制のため、ヨロズオートモーティブミシシッピ社(YAM)の閉鎖に引き続き、2009年12月に、ヨロズオートモーティブノースアメリカ社(YANA)の操業を休止し、ヨロズオートモーティブテネシー社(YAT)へ生産を集約いたしました。
 - (2) また、日本及びアジアにおいても「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとした積極的な合理化活動や生産の効率化などを強力に進めております。
- これらの成果は着実に現われてきており、売上は微増であるにも関わらず、コスト削減は大幅な増加が見込まれる状況となったため、業績予想の修正を行うものであります。

* 上記の予想は、本資料の発表時における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上